

第一部 琉球舞踊／
第二部 創作組踊

糸蒲の縁

上演情報

新たな兄弟都市交流として沖縄版オペラと言われる組踊の上演が決定。組踊鑑賞のポイントや南上原自治会子ども組踊塾生による創作組踊「糸蒲の縁」の魅力をつぶりご紹介いたします。

問 生涯学習課 社会教育係
2021.5.21

場所 地域交流センター
日時 12月12日 13時30分開場 14時開演

「だやってくる！」

兄弟都市提携を平成28年に結んだ福智町と中城村は、交流の輪を広げて広報紙での紹介、スポーツ交流を実現してきました。しかし、昨年は新型コロナウイルス対策で交流できない状況に。その中でも両町村は、交流の歩みを止めまいと、村から町へ「南上原自治会子ども組踊保存会」を派遣し、沖縄の伝統芸能・組踊を福智町で披露する兄弟都市交流の実施を決定。新型コロナウイルスが落ち着きを見せてきた今年、両町村念願の交流が二年越しに実現しようとしています。

誇りと責任胸に親睦深める公演に挑む

福智町への派遣が正式決定後、子どもたちは「プロジェクト未来遺産 2019」登録の誇りや村代表の責任をもち、両町村の親睦をさらに深める交流にしようと日々稽古に励んでいます。当日は、中城の子どもたちが組踊の所作や沖縄方言など、細部にまで心を込めて「糸蒲の縁」をお届けしますので、ぜひ会場へお越しください。



南上原組踊保存会 仲座 包子 さん

糸蒲の縁 あらすじ

当時の王都「首里」から勉学のため糸蒲寺の座主の元を訪れていた侍・金城大主の息子・真山戸は、そこで村娘・チラーと出会い、恋仲になるが、父親の金城大主に結婚を反対される。悲しむ二人の前に酒飲み・ジラーが表れ、結婚の許しをもらう秘策を思いつき…恋の行方はいかに!?



かつて糸蒲村があったと言われる南上原地区

主な登場人物 ※ 配役は上演当日にご紹介	真山戸 首里の侍・金城大主の息子。容姿端麗で勉学にも秀でている。	チラー 糸蒲村に住む美しい娘。村一番の働き物として人望が厚い。
座主 糸蒲寺の住職で学問・指導に優れ、村人から信頼されている。	金城大主 琉球王府から中国の使者を歓待する大役を任されるほど高貴な侍。	ジラー 過去の辛い記憶を忘れるため、いつも酒を飲む村人。話の鍵を握る。

うちなー風感じに、会場へめんそーりよ！
(沖縄の風を感じに、会場へお越しください！)



「国立劇場おきなわ」で平成30年に上演された、南上原自治会子ども組踊塾生による創作組踊「糸蒲の縁」。255もの客席が全て埋る大舞台で圧巻の演技を披露。

組踊の「通」な見方

通常の劇とは異なる点が多い琉球の伝統芸能・組踊。「糸蒲の縁」の上演前に、組踊がもっと楽しくなる「通」な観賞ポイント3つをご紹介します。

- ポイント③ 演者の「型」にご注目**
組踊の演者は、リアルな演技をせず、決められた「型」の演技を行います。例えば抱擁の場面は手を相手の肩に置く、泣く場面はうつむくなど、動作の意味を知っておけば、より観賞が面白くなります。
- ポイント② 心情の表現は音楽で**
劇中音楽は、笛・太鼓・琴の「地謡」が舞台袖で劇に合わせて生演奏。「組踊は聞くもの」といわれるほど、音楽は演者の気持ちや場面のトーンを表現する重要なもの。観賞時はしっかりと耳を傾けましょう。
- ポイント① 舞台セットはイメージ**
約300年前の誕生当時のシンプルな舞台構成を継承する組踊は、通常の劇などで使用される「舞台セット」がありません。劇中の場所や建物などを自分の頭の中で想像しながら観賞しましょう。



「型」の意味を知っておけば、感動がさらに倍増



軽快な音楽が明るい場面を盛り上げる



想像を膨らませながらの観賞が組踊のだいご味



中城村 浜田 京介 村長

新たなつながりを紡ぐ組踊公演にご期待

南上原自治会子ども組踊塾生の取組は、新興住宅地の南上原自治会のコミュニティづくりの一環にもなっているため、兄弟都市である福智町の皆さまに沖縄の伝統を伝えつつも、両者の新たなつながりを紡いで欲しいという希望を込めて今回の派遣を決めました。組踊公演による交流を通して、福智町の皆さまが方言や文化の違いに触れ、さらに親睦を深める機会になればと思います。他地域の風土を直に体験し、感性を豊かにする成長の場になればとも期待しています。

来月はいよいよ、約800kmの距離を超え、福智町の皆さまに会いに参りますので、12月12日(日)はぜひ「地域交流センター」へ足をお運びください。